

～対面式が行われました～

2022年4月11日

4月11日、体育館にて「生徒会入会式・対面式」が行われました。生徒会執行部制作の学校案内映像ならびに各部活動が作成した部活動紹介動画が上映されました。その内容はユーモアあふれるものであり、新入生の緊張も徐々にほぐれていったようです。

そして生徒会執行部により前期生徒会スローガン「ブランコ」が発表され、活動方針として「①不撓不屈」「②つながりを深く」「③新たに造り出す」が掲げられました。コロナ禍で活動が大幅に制限されている現在においても、感染症対策には万全を期しながらも、少しでもできることを果敢に挑戦していきたいという思いが込められています。

昨年度、一昨年度はコロナ禍により、大幅に縮小を余儀なくされた対面式でしたが、今年度は、全学年とはいかなかったものの、1年生と3年生が体育館に入場し、名の通り「対面」して行事を実施することができました。なお、2年生は各教室でオンライン配信という形式となりました。

一日も早く新入生が高校生活に慣れ、北高生として充実した日々が送れるよう、先輩・職員一同で応援していきます。さて、今年度の北高ではどのようなドラマが繰り広げられるのでしょうか？その第一歩がスタートしました！！

《対面式の様子》



学校紹介・部活動紹介の映像および、映像を視聴している様子



新入生代表と生徒会長とのグータッチ



3年生が拍手する中、新入生が退場する様子



ブランコ

ブランコは公園や小学校、家の庭などにある身近な存在です。風を切る気持ち良さ、どこまで高く漕げるのかというスリルを感じ自分の限界にチャレンジしていく。安全に楽しむことができる範囲はどこまでなのか自分で漕いでみて辞め時を判断する。このような魅力のある遊具、『ブランコ』を令和四年度生徒会は目指します。生徒全員が感染しないことを絶対条件とした中で最大限に楽しむことができるラインはどこなのか。自分たちで根気よく考え判断してギリギリまで攻め続ける、そんな風に活動し生徒会を身近な存在にしたいです。

ちなみに、スペイン語でブランコは『白』という意味です。

清廉潔白、清らか、開放的といったイメージとともに「白」という言葉は、「白紙に戻す」と言うように「スタート」を意味することがあります。

今年度からは伝統として受け継がれた北高の姿を知る生徒は誰もいません。それを不安に思うのではなく自分たちの手で新たな伝統をスタートさせるチャンスと捉え、挑戦していこうと思います。

光の三原色を混ぜると白になり、キャンパスの白さはどんな色も受け止める。そんな白色のように、生徒一人ひとりが持つ個人の色を互いに受け止め尊重しあうことができる学校。そんな学校は多様性を認め合う現代社会に対応した世界に誇れる素晴らしい学校といえるはずです。

北高生全員が求める楽しい青春ライフ、生徒の声を反映できるような固定観念にとらわれない全員参加型の活動の実現を目指し北高に新しい風をふかせましょう！

〈活動方針〉

①不撓不屈

実現させたい目標を最後まであきらめない。コロナ禍で様々な問題に突き当たる可能性がありますが、最善の方法を探し続けて最高の学校生活を作り出します。

②つながりを深く

ブランコのように限界まで楽しむために人とのつながりを大切にし、多くの人と協力します。私たちが乗るのは1000人乗りのブランコ。高くまで漕ぐには全員で力を合わせる必要があります！

③新たに造り出す

この二年間で様々なことが中止となり、学校行事は経験者がほとんどいない状況となってしまいました。ここで従来の形にこだわるのではなくむしろ現代にあった形式の新たな行事を造り出すことで、より活発な学校活動を目指します。

